森林減少抑止・森林経営国際展開事業

【令和６年度予算概算決定額　77（77）百万円】

＜対策のポイント＞

気候変動の緩和と適応に向けた森林分野の取組として、森林と農業を取り巻くサプライチェーンにおける森林減少・劣化を排除するための体系的なアプローチを浸透させるとともに、森林再生及び持続可能な森林経営と木材利用の重要性の普及を支援することで、世界の森林減少の抑止に貢献します。

＜事業目標＞

○　森林減少・劣化を抑止する一体的なアプローチをまとめたガイドラインの作成及びその普及
○　森林再生及び持続可能な森林経営と木材利用による気候変動対策や生物多様性保全上の効果や重要性について認識を広める

＜事業の内容＞

１．アフリカ地域森林減少抑止支援事業　56（57）百万円

- 既存の森林減少抑止施策の効果・効率性を検証するため、世界全体（アジア・アフリカ・南米）を対象とした各種政策の調査・分析及び分析手法の開発を行います。
- 森林減少が顕著なアフリカ地域を対象に、地域レベルにおける森林減少抑止に効果的な政策や活動を特定するとともに、森林減少・劣化を抑止する一体的なアプローチをまとめたガイドライン作成に向けた支援を行います。
- ガイドラインによる政策提言などを通じて国・地域レベルの開発計画等へ反映させ、森林と調和したサプライチェーンの構築を支援します。

２．持続可能な森林経営国際展開事業　21（－）百万円

- アジア大洋州を対象に、森林再生及び持続可能な森林経営とそれにより生産される木材の利用による気候変動対策や生物多様性保全上の効果に関する調査・分析を行います。
- 持続可能な森林経営及び木材利用が主要な課題解決策のひとつとなるよう、国際会議やイベント等を通じて情報発信を行います。

＜事業の流れ＞

国　→（拠出金／日本（100%））→　国際連合食糧農業機関（ＦＡＯ）

＜事業イメージ＞

現状
- 世界の森林は**年間1,100万ヘクタール減少**、とりわけアフリカで加速
- 途上国では、**天然林の非持続的な利用による森林減少・劣化**が進行

課題
- 森林減少抑止施策の**費用対効果に関する分析が不足**
- 持続可能な森林経営により生産される**木材の利用推進の重要性への理解が不十分**

アフリカ地域森林減少抑止支援事業

【調査・分析】
森林減少の抑止に効果的な政策・活動の調査・分析及び分析手法の開発

【普及】
・森林減少・劣化を抑止する一体的なアプローチをまとめたガイドラインの作成
・政策立案や技術支援を分野横断的に実施するワークショップ等の開催

目指す成果　森林減少抑止に対する**各国における政策立案を後押し**するとともに、**サプライチェーンにおける森林減少・劣化を排除するための体系的なアプローチを浸透**させる

持続可能な森林経営国際展開事業

【調査・分析】
森林再生及び持続可能な森林経営と木材利用による気候変動対策や生物多様性保全上の効果に関する調査・分析

【国際展開】
国際会議やイベント等を通じ木材利用の重要性を発信

目指す成果　森林再生及び持続可能な森林経営とそれにより生産される**木材の利用を推進していくことの重要性を国際的に広く認識**させる

持続可能な森林経営とそれにより生産される木材の利用が推進されるとともに、世界の森林減少抑止に貢献

［お問い合わせ先］　（１）輸出・国際局新興地域グループ（03-3502-5913）
（２）林野庁計画課　（03-3591-8449）